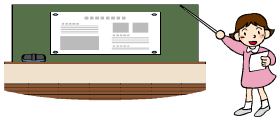
学校だより
多紀
平成３０年
１０月号
篠山市立
多紀小学校

保護者向け 学力向上特集号



今年も「全国学力・学習状況調査」「篠山市学力・生活習慣状況調査」の２つの調査がありました。全国学力・学習状況調査は、小学校６年生を対象に、篠山市学力・生活習慣状況調査は小学校３，４，５年生を対象に実施しました。調査した内容は、教科に関する調査（４月実施、国語・算数・理科）と生活習慣調査（５月実施）の２つです。ねらいは、「学習指導要領に示されている内容について児童生徒の定着状況を把握し、指導計画の見直しや指導方法の工夫改善に生かす」というものです。

この調査結果は児童の学力すべてを表したものとはいえませんが、学校全体で取り組んできた学習の成果と課題を見ることができると考えています。保護者の皆様にお知らせし、一緒になって取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。
（なお、個人の結果については、懇談会等で保護者の皆様にお渡ししています。）

～全国学力・学習状況調査、市学力・生活習慣状況調査の結果から～

＜３年生＞

・国語　○【関心・意欲・態度】【話す・聞く能力】･･･　全国に比べて高い力がついています。
　　【書く能力】【言語の知識・理解・技能】･･･　学年相応の力がついています。
　　△【読む能力】･･･　課題が見られます。
・算数　○【関心・意欲・態度】【数量や技能の技法】【数量や技能の知識・理解】
　　･･･　学年相応の力がついています。
　　△【算数的な考え方】･･･　課題が見られます。

［今後の取り組み］
→　国語では、正しく文意を読み取り大意をつかむために、語彙、語句の学習や読書習慣づくり、友達の意見を聞き合う学習などを、より授業に取り入れていきます。
→　算数では、筋道を立てて考える力を育むため、１つ１つの数字や算数の用語に注目させ、丁寧に問題文を読み取り、主体的に学ぶ機会をつくっていきます。

＜４年生＞

・国語　○【関心・意欲・態度】【話す・聞く能力】【書く能力】【言語の知識・理解・技能】
　　･･･　全国に比べて高い力がついています。
　　○【読む能力】･･･　学年相応の力がついています。
・算数　○【算数的な考え方】【数量や図形の技能】【数量や図形の知識・理解】
　　･･･　学年相応の力がついています。
　　△【関心・意欲・態度】･･･　課題が見られます。
・理科　○【自然事象への関心・意欲・態度】【科学的な思考・表現】【観察・実験の技能】【自然事象の知識・理解】･･･　すべての領域で全国に比べて高い力がついています。

［今後の取り組み］
→　全般的にどの教科も力をつけてきています。より力を伸ばせるよう、学ぶことの楽しさを味わいながら、主体的に深く学び高め合う授業づくりを進めます。

＜5年生＞

・国語　○【話す・聞く能力】･･･　学年に比べて高い力がついています。
　　○【関心・意欲・態度】【書く能力】【読む能力】【言語の知識・理解・技能】
　　･･･　学年相応の力がついています。
・算数　△【数量や図形の技能】･･･　特に課題が見られます。
　　△【関心・意欲・態度】【数学的な考え方】【数量や図形の知識・理解】･･･
　　課題が見られます。
・理科　○【科学的な思考】･･･　学年相応の力がついています。
　　△【観察・実験の技能】【自然事象の知識・理解】･･･　課題が見られます。

［今後の取り組み］

→　国語の力をさらに伸ばしていくため、「めあて」「まとめ（ふりかえり）」を授業の中に定着させ、理解度の向上に努めます。

→　算数では、復習を丁寧に行い、数字や問題文を丁寧に読み解けば「わかる」という経験を積み重ねて、「楽しさ」「できる面白さ」を味わえる授業に一層取り組みます。

＜6年生＞

・国語　○【書く能力】【話す聞く能力】･･･　学年相応の力がついています。
　　△【読む力】【言語の知識・理解】･･･　課題が見られます。
・算数　△【数量や図形の知識・理解】【数学的な考え方】【数量や図形の技能】
　　･･･　課題が見られます。
・理科　○【自然事象への関心・意欲・態度】･･･　全国に比べて高い力がついています。
　　○【観察・実験の技能】【科学的な思考・表現】･･･　学年相応の力がついています。
　　△【自然事象の知識・理解】･･･　課題が見られます。

［今後の取り組み］

→　国語、算数ともに、情報を丁寧に読み取り処理していくことに課題が見られます。普段の授業から、語句や数字に注目し丁寧に問題を解く取り組みを進めます。また授業の「めあて」「ふりかえり」を大切にし、受け身でなく主体的な学習への取り組みを促します。

～多紀小学校全体としての学力向上、課題解決に向けて～

１　学習を進めるにあたり、今後も継続して取り組みます。

(1) 学習規律の定着を図ります。
・「時間を守る」「机のまわりを整頓する」「忘れ物をしない」などの定着を進めます。
・授業中は「姿勢を正す」「指名されたら返事をする」こと、また「聴くとき」「読むとき」「書くとき」「考えるとき」の学習態度や意欲について、１つ１つ育んでいきます。

(2) ６年間の学習の連続性を意識し、「めあて」と「ふり返り」を重視して定着を図ります。また、事実や根拠を基に自分の言葉で説明したり、条件に応じて考えを書いたりする力を育てます。

(3) 実験や観察など、体験活動を多く取り入れます。また、一人一人のつまずきを把握し、個に応じた指導を進めます。

(4) 受け身でなく、自らの考えを書いたり友だちや先生に伝えたりする、主体的・能動的な学習活動を重視します。

(5) 「解けた！」という達成感や「もっとチャレンジしよう！」「これはどうなっているの？」という知的好奇心を喚起する発展的な学習をさらに取り入れます。

２　家庭や地域の皆様とともに子どもたちの力を伸ばします。

(1) より良い生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯など）づくりを推進します。

(2) ４月に配布しました『家庭学習の手引き』に、「家庭学習の６つのやくそく」や低・中・高学年の家庭学習のポイント、時間の目安などについて記しています。今一度ご覧ください。